

ビオトープ部

昆虫調査班

大阪府立園芸高等学校 ビオトープ部 薩摩裕太 能村天喜 福井一斗 釜野 藤本 田中 高杉

1 はじめに

園芸高校はとても自然に恵まれた環境にあり、様々な種類の植物や昆虫が生息しています。特に、昆虫に関しては膨大な種類が生息しており、その種類の多さから、園芸高校内の昆虫類を全て採集した事例はありません。歴代のビオトープ部員が集めていた「柁」というデータも数十年前のものしか残っておらず、園芸高校の昆虫相の現状が未だに詳しくわかっていません。

そこで私たち昆虫調査班は園芸高校内の全ての昆虫の採集を目標として、日々、昆虫を採集、同定し、標本にすることでデータとして残すと共に、園芸高校の恵まれた環境に生息する様々な昆虫を通して、地域住民を対象とした環境教育を目的とした活動を行っています。



↑トノサマバッタの標本



↑カブトムシの幼虫



↑展示を行ったカマキリ

2 生体展示

(1) 目的

昆虫への関心を高めるため動かない図鑑や標本ではなく実際に昆虫たちが動いている姿を見れる生体展示をすることによって昆虫の魅力をより伝えることができるのではないかと私たちは考えました。

(2) 内容

後に説明をする「昆虫観察会」で観察をする生体の展示を中心にカブトムシなどの人気の高い昆虫の展示を行いました。昆虫観察会で使用した説明用のポスターの掲示も行いました。

(3) 結果

カブトムシは園芸高校内で採集できた個体で生体展示を行いカブトムシが来年にも見るように産卵セットを作り、卵を産ませ、生まれた幼虫を実習庭園内に放しました。カマキリの展示ではカマキリの採集の仕方や特徴について知ってもらうことが出来ました。

生き物の量が多い標本も大切ですが、生体展示では生き物の動きを細かく観察できるので楽しく昆虫を観察することができ昆虫への関心を高めることができるはずです。



↑トノサマバッタ♀と卵の生体展示



↑発表用のポスター



↑観察会の様子

3 昆虫観察会

(1) 目的

昆虫班の目的の一つである地域の人への環境教育を行うため昆虫観察会を行いました。

(2) 内容

8月29日の昆虫観察会では、対象を小学生に設定し小学校にビラの配布を行い命の大切さを学んでもらうという目標のもと、トンボ、チョウ、バッタをテーマとし学校内の実習庭園で昆虫観察会を行いました。9月26日の昆虫観察会ではカマキリをテーマにし、対象年齢は小学1年生から小学3年生を対象としました。実習庭園内にある池やハチの巣など、危険がある箇所には部員を配置する事で安全を確保しました。この2回の昆虫観察会では、問題点の改善、内容の向上を目指し観察会後にアンケートを行いました。

(3) 結果

参加者数は8月29日では20名以上、9月26日には小学生のみで50名を超え保護者の方をいれると100名を超える方々に来ていただけたことが出来ました。

アンケートでは、「楽しかった」「また次も行きたい」といった好意的な回答もありましたが昆虫への抵抗が少なくなりましたかと言う質問には少なくなっていないと回答した方がおり、これは観察会で昆虫の魅力を伝えきれていないということだと思います。この結果を受け今後の昆虫観察会に活かしより良い観察会ができるよう努力していきます。

このイベント実施
 園芸高校の部員が
昆虫観察会アンケート

① あてはまる ② あてはまらない
 どちらかに○をつけてください。

- まじりの昆虫会は楽しかった。
 () ()
- まじりについて学べた。 () ()
- 観察会に参加するよりも、もっと楽しかった。
 () ()
- 観察会に参加するよりも、昆虫のことが好きになった。
 () ()
- 観察会に参加するよりも、昆虫を大切にしたいと思うようになった。
 () ()
- このようなお祭りには、参加したいと思う。
 () ()

アンケートの結果です。ありがとうございます。

項目	1	2	3	4	5	6	9月	1	2	その他
質問1	5	2	1	0	0	0	質問1	55	3	3
質問2	5	2	1	0	0	0	質問2	45	11	2
質問3	2	2	1	1	0	0	質問3	47	10	1
質問4	2	2	1	1	0	0	質問4	43	15	1
質問5	2	2	1	1	0	0	質問5	45	12	1
質問6	2	2	1	1	0	0	質問6	55	3	1

↑アンケートとその結果